

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ハロフェスいな2018～ハロウィンがリニアにのってやってくる～
事業主体 (連絡先)	伊那商工会議所 0265-72-7000 担当 熊谷沙織
事業区分	(3)教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,183,340円 (うち支援金: 808,000円)

事業内容

事業内容

ハロフェスいな2018
～ハロウィンがリニアにのってやってくる～

日程 平成30年10月27日(土) 10時～15時
会場 伊那市セントラルパーク (駐車場含む)



【 会場の様子 】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① オリジナルパンフ等により、来場者へのリニア開通の効果や課題の周知ができた
- ② 地域に暮らす住民に子供の未来にふれていただくことで地域のあるべき姿を考えていただけた。
- ③ リニア開通で変化のある近隣の市町村からの来場者も多くあった。また、広報に協力いただけた。
- ④ 多くの参加者が中心市街地に集うことで活気があったが、街を歩き多くの店を知ったことで、今後の活性に繋がる。
- ⑤ 地元の人間性や食文化の発信ができた。

【目標・ねらい】

- ① リニア開通による未来への意識付け(全世代)
- ② 地域の未来創造
- ③ 地域間交流
- ④ 中心市街地活性化
- ⑤ 地域の魅力発信

※自己評価 【 A 】

【理由】

時代の変化の中、故郷が活気ある地域である必要性を知っていただけたこと。また、市街地でのイベントで1,600名もの来場者がきたことはそう無く、活気ある日となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

人口減少が進む日本。その中で2027年リニア開通を控えたこの地域が今後如何なる変化をしていくかは、ここに暮らす我々次第です。人口の都心への流出を止め、活気ある地域であり続けるためには、今から地域の未来を考え、行動をしていかなければなりません。今回、我々はターゲットを主に子供と子育て世代の親達とし、効果ある事業とするため、ハロウィンイベントに絡め問題提起をしました。しかし、この課題には地域の方々、全世代の皆さんが関心を持ち、未来への取り組みをしていく必要があると考えます。我々伊那商工会議所青年部はこの地域で商売をさせていただいている者達の集いです。今後もこの地域が、元気で魅力ある地域でいられるよう、様々な視点から地域の課題に取り組み、地域の皆さんと共に考え、喜びを与えられる活動をしていきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある